

金融広報中央委員会主催「金融教育を考える」第2回小論文コンクール 特賞作品より

三重県伊勢市立五十鈴中学校 西村 朱美

1. 「松阪もめん」とは?

伊勢神宮の機殿がある松阪で織られる

・藍染めを基調としたシマ柄が特徴

・シマ柄が江戸庶民に受けたが、歌舞伎の 世界でも「マツサカを着る」というほど有名

先人たちの知恵・苦労を知るとともに就労 への心構えについて考える



2. 効果的な授業のために

・生産者・販売者としての体験 物事の本質を見抜く力 好ましい金銭感覚の形成



衣食住生活に関わりがあるもの 長いスパンで取り組めるもの

--- 松阪もめんに注目



3. オリジナル商品の開発・製作

- ・商品のデザイン画制作
- ・デザイン画のシェアリング・商品決定
- 商品の製作



被服実習での達成感を得るだけでなく生産者側の苦労や努力を体験

•••モノを大切にする気持ちが強化



<商品製作の様子>









く商品> 単行本カバー、コースター ポケットティッシュカバー、巾着









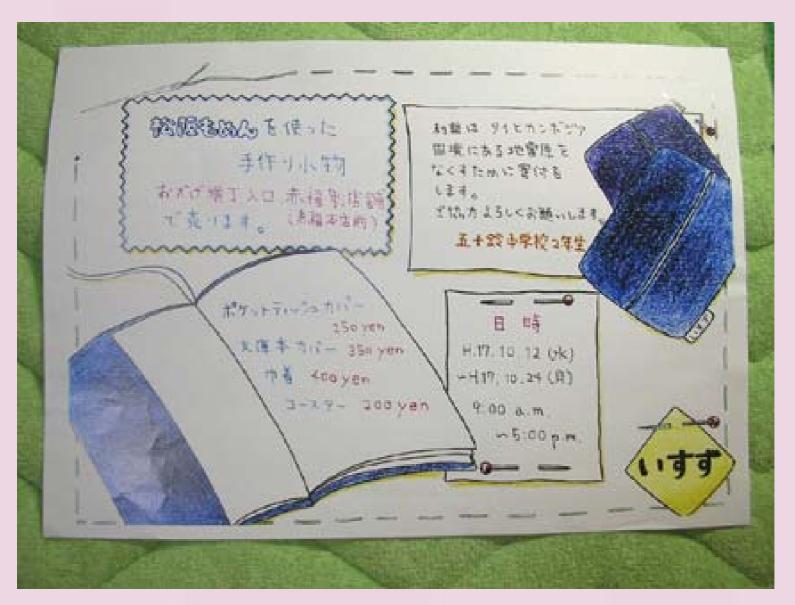


4. オリジナル商品販売に関わる工夫

- •価格設定
 - ・・・市場価格の妥当性について考える 姿勢の育成
 - •・・「買えば済む」という生活の反省
- ・広告の制作
 - ・・・消費者として情報を吟味し、 取捨選択していく資質が必要である という気づき



<広告>





5. オリジナル商品販売による利益の利用方法

- 話し合いの結果、ボランティアに利用することを決定
 - •••貨幣価値について考える機会に するために世界に目を向けさせる

タイ・カンボジアの地雷撤去に取り組んでいる団体に寄付することに決定



6. 商品販売および広告配布

- 店舗でのセールス
- 職員室でのセールス
- 街頭での広告配り
 - ・・・一般社会の中でモノを売る ことに伴う難しさの認識
 - ***「仕事と自分」についての 新たな認識



<店舗での販売の様子>





<街頭での広告配りの様子>





7. 収支決算

• 完売による純利益額 14,700円

地雷撤去に取り組んでいる団体に寄付

・・・ 貨幣価値の問い直しおよび それを考慮した生活のあり方 について考える姿勢の育成



8. 今年度の取り組み

新商品の開発

- アロマキャンドルを利用した香り袋
- -なべつかみ-靴

収支決算

円の純利益

・・・地雷撤去のために利用







<新商品の靴>

シューズメーカーとのコラボレーション



「足と靴」の学習目的

- 生活者としての自 己を認識する力の 育成
- ・自分の体に合った ものを選択・購入し ようとする姿勢の育 成
- ・「意見を反映させる 権利」の行使



<平成18年度の広告>





9. まとめ

これからの生活者としてのあり方

- ・単に消費行動ができるだけでなく、自然や人との共生を配慮した上で、時には自分の望むモノを創造的に生産して、生活を営んでいくことができる
- ・グローバルな視点で、好ましい貨幣価値 を認識した消費行動ができる

